

拠出金名:太平洋ハイテクセンター(PICHTR)拠出金

国際機関等名	太平洋ハイテクセンター (英文名称・略称) Pacific International Center for High Technology Research (PICHTR(ピクター))					
種 別	国連本体 国連専門機関 <u>その他</u>					
所轄官庁担当局課名	外務省北米局北米第二課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成16年度	28,591	260		1\$ = 110 円	(2004年) 3.4	100
平成15年度	35,234	289		1\$ = 122 円	(2003年) 8.7	100
平成14年度	44,042	361		1\$ = 122 円	(2002年) 7.7	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2004年度決算)		
1位	米国(連邦政府及びハワイ州政府)	7287	95.5	当該年度の収入 3,502,943ドル		
2位	日本	260	3.4	当該年度の支出 3,490,267ドル		
3位				次年度への繰越 134,774ドル		
4位				会計検査機関名		
5位				KPMG LLP		
上記の率及び順位は2005年のもの				(現在の構成員の出身国:米国)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
PICHTRは、強い太陽光、風力等、南太平洋の気候を活用した持続可能な電力発電システムの開発・普及、及び同システムのメンテナンス等に必要な技術者の養成等、南太平洋の開発途上国の国造り、人造りに役立ち、同時に環境問題の観点から有益なプロジェクトを積極的に計画・実施しており、PICHTRへの拠出は有意義に活用されている。我が国の意見は、必要に応じて直接又は理事を通じて適宜反映されている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
PICHTRでは、南太平洋地域における持続可能な電力発電システムの一層の推進、燃料電池開発等の新たなプロジェクトの実施に向けて、米国政府を始めとする関係機関に対し、積極的なPR活動や参加要請を行うなど、プロジェクトの効果的な実施のための体制強化に努めている。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		9人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
理事(Director)		堂之脇光朗 藤田公郎 福川伸次 中神靖雄		元在ホノルル総領事(元駐メキシコ大使) 国連改革担当大使(元駐インドネシア大使) 元通産事務次官(電通顧問) 三菱重工業特別顧問 (元核燃料サイクル開発機構副理事長)		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
PICHTRは、ハワイ州議会が設立を決定した同州籍の独立非営利法人であり、事務局職員として邦人を送り込む具体的な計画はないが、当該機関の最高意思決定機関である理事会を構成する理事(計11名)のうち、4名を邦人が占めている。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。